

「幸せを願って」

NO.275

H29. 6. 9(金)
(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

「50周年プレキャンペーン」

合掌 30℃を超える真夏日もありますが、梅雨前の爽やかな風も吹き抜けています。先日、会社の前の橋をピョンピョンと飛び跳ねながら渡るキツネを見ました。ここ新居浜支店の周りは、サル・イノシシ・ヘビからアリ地獄(ア리가落ち込むと脱出できず食べられてしまう)まで、様々な虫や生き物が棲んでいます。

ここは、妙見神社と正法寺の掌(たなごころ)に抱かれたパワースポット、癒しの地です。昭和49年に、全国第一号の「愛の家」を建てるためダスキンの鈴木創業者が来新された時に母と相談し、いくつかの候補地の中から決められた由緒ある地です。ある時、霊性の高い方が来られ、霊気の満ちた清浄な空気が充満していると感心されていました。市内から比べると、2~3℃低い冷涼な所(新居浜の軽井沢と呼ばれている)です。「つどい」や何かの御用で来られる時には、ハーティールームも使い易いように整備しますので、ごゆっくりお寛ぎください。

さて、4月12日に始まった第25回ダスキンフェアも、5月13日の小松フェアで盛会裏に無事終了しました。ダスキングや暮らラブ商品も新登場し、皆さんにも積極的に誘いいただいた結果、お客様数(112%)も売上(124.6%)も今までになく大幅な成長となりました。いつもお願いしておりますが、お越しいただいたお客様へは感謝のお礼と商品の使い方を改めて教えてあげてください。ロボットクリーナーSiRoのモニターは、じゅうたんや畳の部屋を中心に。ダスキンモップは、朝一や帰宅後すぐに済ませれば、床に溜まった目に見えにくいホコリを舞い上げずにさっと取り去ります。SiRoは、時間設定の上、念入りモードで日中にしてもらおうと楽ですね。

そして、台所用スポンジが4・5月で新居浜支店だけで、3,000個以上出ています。全国では、3分に1個出ていると言われる日本一のスポンジだそうです。スポンジだけご利用のお客様も多くお出でます。何とか自分のお世話地区内のご利用者を把握して、8Wに一度は「喜びのタネ」と「おうちのこと」をお手渡し願えると有り難いです。

今期(第50期)は、来年度の50周年の前年、49年目の年です。昭和43年9月9日のダスキン加盟研修の日を、創業記念日としています。初代の母・小野由生枝と姉・小林千草が、二人で受講しました。当時の私は、中学一年生で遊ぶのに忙しく、そんな事はチンプンカンプン。記憶の片隅に、部屋の端っこに置かれた段ボール箱の中に、真っ黒に働いたホームダスキンが積まれていた覚えがあります。

後で母に話を聞くと、忙しい父の商売(酒・煙草・肥料・塩・切手等の専売品店)のかたわら、家と店がダスキンでピカピカに磨かれて心まで晴々としたと嬉しかったそうです。その優れた商品性と、鈴木創業者の経営理念の考え方が幸せに生きるバイブルだとも語っています。母は、ダスキンによって生かされ、93歳になる今も元気に暮らしています。そのダスキンとのご縁が、お陰様で半世紀50年を迎えようとしているのです。

来期は、その記念のイベントや旅行、お客様お返しをどうしようかとアレコレと考えています。まず決まっているのは、社内記念旅行です。①3泊4日の台湾旅行②1泊2日の大阪 USJ③日帰り出雲方面バス旅行。9月7日(金)には、リーガで豪華な50周年記念式典も行います。

まずは、記念旅行への補助ポイントとして積み立てられるプレキャンペーンを強く意識してください。フェアお誘いを頑張って下さった方に、人数×100 P。部門を越えた紹介キャンペーン等に加え、新たに部門ごとに追加もされますのでご期待ください。ワクワクしながら、できる所から自発的に取り組んで行きましょう。

新しく何かを始めようとする、いつも①よしやってみよう・動こうとチャレンジする前向きな人。②チラッと見るけど、誰かがやっているのを眺める様子見タイプ。③やる前から、どうせ私は…と、何もしない無関心派。④最悪なのは、できない理由を並べ立て、人の足を引っ張る無責任派。

④の人は、新居浜支店にはいませんが、良いと思う事・必要だと思うことを自ら行動する自発的な人を目指してみましょう。子どもたちは親の言う通りにはなりません。親のする通りを真似る、賢い子どもたちです。今からでも、遅くはありませんよ。(笑)

ありがとうございました。合掌